

あま市巡回バス運行の見直しについて

1 あま市巡回バスの背景

平成 22 年 3 月に合併して「あま市」が発足して以来、高齢者を中心とする市民の皆様から市内の公共施設などを結ぶ交通手段の確保について多くの要望が出されてきました。

また、あま市の最上位計画に当たる第 1 次あま市総合計画においては、「安全が確保され、安心で快適に暮らせるまち」を基本目標として定め、「交通網が整備された安全で快適なまちをつくる」を施策の大綱として位置付けており、あま市都市計画マスタープランにおいても「道路・交通に関する方針」の基本方針として「どこへでも、安全・快適に移動できる環境をつくる」としています。

こうした状況を踏まえ、交通空白地域の解消や、高齢者を中心とした移動に困っている方々の日常生活を支えるため、あま市地域公共交通会議での議論を経て、市民病院をはじめとして「公共施設」「公共交通機関」「商業施設」をコンパクトに結び、かつ市の一体感を醸成することを主眼として平成 27 年 11 月にあま市巡回バスの試行運行を実施する運びとなりました。

その後、平成 29 年 10 月に市民アンケートや市内の年齢別人口分布などから得られた「バス停設置の要望が強い地区」「高齢者数が多い地区」「高齢者率の高い地区」「目的地及び行きたいと思う場所」を最大限考慮し、南北の公共交通の不便を解消するため、ルートの見直しを行いました。令和 3 年 4 月から同ルートにて本格運行を開始しております。

2 現行の運行ルートにおける検証

これまでの利用状況、平成 31 年 3 月に実施した市民アンケートを検証した結果、次のような問題点を確認することができました。

(1) 利用者数

- ・「東部巡回ルート」の利用者数が他 2 ルートと比べ 5 割以下
- ・「日曜日」の利用者数が他の曜日と比べ 2 割前後
- ・バス停ごとの利用者数の大幅な差（年間利用者がいないバス停が存在）

(2) 運行曜日

- ・市民が求めている運行曜日及び運行時刻が異なる
- ※現在、利用者や無料乗車券発行者を対象として「巡回バス運行曜日アンケート」を実施しております。

(3) 利便性

- ・運行本数が少ないことによる利便性の悪さ
- ・巡回ルートが長いことによる乗車時間の長さ

3 運行の見直しについて

令和 5 年度に新庁舎が開庁することにより、庁舎機能が全て新庁舎に集約されることから、新庁舎を起点とし、市民アンケートや運行開始以後市民の皆様から寄せられているご意見等を勘案し、運行ルートを見直します。また、将来に渡り公共施設の統廃合が行われていくことから、未来を見据えた運行ルートの編成を行いたいと考えます。

(1) ルートの設定

- ① 公共交通機関の満足度が低い地域（赤色の地区）
「下萱津」「七宝町下之森」「七宝町鯉橋」「森」「北苅」
（参照 あま市巡回バス試行運行に関するアンケート結果、
第 2 次あま市総合計画策定等に関するアンケート調査ご協力をお願い）
- ② 公共交通機関の利便性向上の要望が多い地域（桃色の地区）
「七宝町下之森」「丹波」「坂牧」
（参照 第 2 次あま市総合計画策定等に関するアンケート調査ご協力をお願い）
- ③ 「近くにバス停がないため利用しない」の回答が多い地区（黄色の地区）
「東溝口」「北苅」「方領」
（参照 あま市巡回バス試行運行に関するアンケート結果）

アンケートから得られた以上の項目ごとの意見を考慮し、ルートの設定を行います。

(2) 目的地の設定

- 目的地及び行きたいと思う場所
「市民病院」「市役所各庁舎」「公共交通機関各駅」「商業施設」等
（公共施設は赤い四角、その他施設は黄色い四角）
（参照 これまで寄せられたご意見、あま市巡回バス試行運行に関するアンケート結果）
以上のご意見及びアンケート結果を考慮し、目的地の設定を行います。

(3) バス停の設定

- 運行開始から現在にかけ、利用人数が年間を通して、または 1 年間で極端に少ないバス停については、バス停を無くすなど、より利便性の向上に努めます。
（参照 資料 1 利用状況、資料 1 別紙利用状況（参考資料））

(4) 運行曜日の設定

- 現在の運行日について「火曜日」、「金曜日」、「日曜日」で運行しておりますが、平成 31 年 3 月に実施した市民アンケートにおいて、「月曜日」、「水曜日」、「金曜日」の意見が非常に多いことを確認することができました。
これまでの利用状況を考慮し、運行曜日の設定を行います。
（参照 あま市巡回バス試行運行に関するアンケート結果）

4 見直しに当たって

現在の巡回バスを利用している方々の生活スタイルを崩さないためにも、以下の点について考慮し、利便性の向上を目指しルートの編成を行います。

- ・既存のバス停は極力残す。
- ・運行委託費は、現状と同額程度とすることから、サービス水準を見極め、運行日は現在と同じく週 3 日、運行時間も現在と同じく 8 時間程度とする。
- ・車両は、現在と同じ 3 台とする。
- ・運行便数を現在の便数より増やす。